

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

専門分野区分	システム開発	科目名	オブジェクト指向開発			科目コード	T1281A1			
配当期	前期	授業実施形態	通常			単位数	4 単位			
担当教員名	新堀 久美子	履修グループ	3A(KS/SI)			授業方法	演習			
実務経験の内容	世界有数のIT企業で、お客様アプリケーションの開発・保守を担当するシステムエンジニアとして19年間勤務した。その経験に基づき、オブジェクト指向の考え方と共にUMLについて指導していく。									
学習一般目標	オブジェクト指向の考え方が理解できる。 ユースケース図とシナリオ、アクティビティ図による分析ができる。 クラス図、シーケンス図を使ってオブジェクト指向設計ができる。									
授業の概要および学習上の助言	オブジェクト指向による設計を学びます。具体的にはUMLの中でもユースケース図とユースケースシナリオ、アクティビティ図を使った分析、クラス図、シーケンス図を使った設計ができるようになります。昨今のシステム開発の大規模化、複雑化にはかかせない技術ですので、業界で活躍するためには必要な専門技能です。									
教科書および参考書	かんたんUML入門 [改定2版]									
履修に必要な予備知識や技能	オブジェクト指向プログラミング言語(C#等)									
使用機器	PC									
使用ソフト	astah、Visual Studio									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/2	ユースケースを使った分析方法を理解している								
	1/2	UMLを使ったオブジェクト指向設計方法を理解している								
	1/2	オブジェクト指向での設計から開発までの開発プロセスを理解している								
	3	講義と実習に意欲をもって取り組むことができる								
	5	講義と実習に意欲をもって取り組むことができる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解				15	10			25
		2.思考・判断				15	10			25
		3.態度							20	20
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							30	30
	総合評価割合					30	20		50	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								
試験		予定していません。								

小テスト	予定していません。
レポート	予定していません。
成果発表(口頭・実技)	期末に作品の説明してもらいます。ここでの質疑応答で理解度を評価します。また、普段の授業での対話も評価の対象になります。
作品	期末に作品の説明してもらいます。作成の進み具合が評価となります。
ポートフォリオ	予定していません。
その他	出席し、まじめに取り組むことを評価します。ほぼ毎時間、授業の終わりに作業の成果を提出してもらいます。これも、評価の対象になります。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション オブジェクト指向とは	講義・実習	
第2回	オブジェクト指向 なぜオブジェクト指向が必要なのか オブジェクト指向の概要	講義・実習	
第3回	UMLとモデル	講義・実習	
第4回	ユースケース図とユースケースシナリオ	講義・実習	
第5回	分析	講義・実習	
第6回	アクティビティ図	講義・実習	
第7回	クラスの抽出とクラス図	講義・実習	
第8回	クラスの階層と継承	講義・実習	
第9回	シーケンス図	講義・実習	
第10回	状態マシン図	講義・実習	
第11回	演習	講義・実習	
第12回	演習	講義・実習	
第13回	演習	講義・実習	
第14回	演習	講義・実習	
第15回	演習	講義・実習	